

長野県図書館協会

デジタル版 小中学校図書館部会だより

第143号（27年度）

平成27年度小中学校図書館部会の活動を振り返って

長野県図書館部会小中学校図書館部会

副部長 長野市立安茂里小学校 和田 敦

本年度、小中学校図書館部会では「豊かな学びの中核となる学校図書館～司書教諭と学校司書との連携による読書・学習・情報センター～」をテーマにすえ取り組んできました。

部会では、司書教諭委員会、学校司書委員会、各コンクール関係、推薦課題図書選定委員会、出版物促進、部会だよりの各部門において積極的な活動がなされました。

第65回長野県図書館大会は、11月14日に小諸市文化センターをメイン会場として、小諸東中学校および小諸市市民交流センターにおいて開催されました。講演会では、前国会図書館長の長尾真先生から、専門性の高い内容をわかりやすくお話していただき、これからの図書館のあり方やデジタル化への方向性など考える機会となりました。また、午後の研究部会では、「司書教諭の役割」「司書の立場からの授業支援」「図書館運営のあり方」「読書指導のあり方（学習センターとして）」「読書指導のあり方（情報センターとして）」の分科会の準備と運営にあたってきました。各分科会とも、貴重な実践に基づいたレポート発表やワークショップなど熱心に参加される姿が見られました。自校での図書館教育にすぐにでも役立てたいという意気込みが感じられました。

また、各地区の学校図書館教育研究大会は、北信地区が中高支部、中信地区が安曇野支部、南信地区が上伊那支部の計画により実施されました。北信越地区学校図書館大会は、石川県で行われました。29年度には、長野県で北信越地区学校図書館大会が開催されます。学校図書館法の改正も行われ、学校図書館の果たす教育的役割が高くなっていきます。実践をとおした研究の積み重ねがなされることを期待しております。

読書感想文および読書感想画の両コンクールの作品募集に関しては、応募校数は感想文でほぼ例年と同じ、感想画で微増という状況でした。各支部、各校の取組に感謝いたします。

最後になりましたが、本年度の小中学校図書館部会の諸活動にご協力いただきました皆様に御礼申し上げますとともに、来年度塩尻市で行われる第66回長野県図書館大会ならびに29年度北信越地区学校図書館大会へのご支援ご協力をお願いし活動報告とさせていただきます。

第 28 回 北信越地区学校図書館研究大会に参加して

小川村立小川小学校 浅井かよ子

11月19・20日、石川県白山市・野々市市において「主体的な読書活動を支え確かな学力を育む学校図書館の創造」という大会主題で研究大会が行われました。

1日目、白山市立松陽小学校では、平成26・27年度白山市教育委員会「学力向上パイオニア・プラン研究推進事業」の公開も兼ねて、研究主題「学び合い、高め合う児童の育成～言語活動の充実をとおして～」のもと、「図書館と連携し『付けたい力』を明確にした国語科を軸とした授業」が公開されました。小学校1年生から6年生までの図書館教育・国語指導事項と学年・単元の構成を一覧表（マトリクス）に表し、「児童の主体的な学習や言語活動の充実に図書館をどのように活用するか」ということについて、全校体制で取り組んでいる様子を発表していただきました。図書館司書の先生と連携して単元構成や学び合う場を工夫するという「授業における図書館活用のありかた」を学ばせていただきました。

2日目は、小学校読書指導の分科会に参加しました。

① 「本っておもしろい！」から「読みたい」「伝えたい」へ～読書意欲の向上が「読む・書く・話す」力を育む～（新潟県妙高市立妙高小学校）

読書量をふやすために、読書ボランティアによる読み聞かせ、授業参観で親子読書などをおこなうことにより、子どもたちが自ら本を読むようになっていった実践。

② 言語能力の育成を目指す読書活動（富山県氷見市立久目小学校）

読書に親しむ機会を多くし、読書力を高めることが言語能力の育成にもつながると考え、「音読発表会」「本大好き集会」「本の紹介」などの集会活動の充実をはかり、読書環境を整えることで、全校児童の興味関心を高めていった実践。

③ より豊かな読書活動の広がりを目指して（長野県茅野市立永明小学校）

子どもたちが日常的に図書館へ足を運び、本に触れ、本に親しめる雰囲気为学校全体で作られている環境において、さらに豊かな読書活動の広がりを目指し、友と交流しながら本の帯をすることで、子どもたちが様々な価値観を獲得し、自分の考えや作品への理解を深めていった実践。

④ 言語能力の育成をめざす読書指導（石川県小松市荒屋小学校）

国語科での「読解」の授業を通して読書意欲を高め、読書力を養い、日常の読書活動に役立つ力を育み、言語活動の充実につなげていった実践。

以上4つの発表をお聞きし、図書館教育における授業の工夫や支援について学ばせていただくことができました。今回学ばせていただいたことを参考に、学校図書館を計画的に利用し、さらにその機能の活用をはかり、子どもたちの主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実に向けて、さらに環境の整備に努めたいと思いました。

次回第29回北信越地区学校図書館大会は、平成29年度に長野上水内において開催が予定されているそうです。長野の地において、このような研究大会が行われることを今から楽しみにしています。

支部だより

塩筑支部

塩筑支部代表 塩尻市立宗賀小学校 赤津 勝広

塩筑支部は、小学校15校、中学校9校（北部、中央、塩尻の3支会）で構成されています。読書感想文コンクール等支部全体で行っている活動だけでなく、各支会の実情を踏まえ、支会ごとに情報交換等しながら、子どもの読書活動の推進を図ってきています。

1 活動内容

(1) 第38回長野県読書感想文コンクール募集と支部審査（読書感想文委員会）

① 感想文の集約、支部審査、県への発送

応募総数 258点

各学校の担当者の協力をいただき、例年に比べ多くの応募がありました。小学校は去年の倍の応募となりました。

② 長野県課題図書の評読、読書感想文の指導方法についての研修

審査をするにあたって、県の課題図書については委員が事前に作品を読みあい、理解を深めることができました。

(2) 第65回長野県図書館大会への参加

11月14日（土） 小諸市

参加者 21名

発表者：第4分科会 関 陽子教諭（塩尻西部中学校）

(3) 支会ごとの活動

① 3つの支会ごとに学校司書が集まる機会を設け、必要な情報交換等を行っています。

② 上記の会合とは別に、塩尻市では、市立図書館職員、学校司書、市教育センター教育相談員等で構成する学校図書館委員会を年7回ほど開催しています。学校ごとの情報交換をしたり、市立図書館からの情報を伝達していただいたりして、横のつながりを大切にしながら、よりよい学校図書館を目指しています。

2 活動を振り返って

(1) 本年度は、長野県読書感想文コンクールへの応募数を増やすことができました。さらに広報等の工夫もしながら、読書活動の充実を図っていきたいと思います。

(2) 来年度は長野県図書館大会塩筑大会が塩尻市で開催となります。事務局となる塩尻市立図書館と連携を密にしながら準備を進め、実りのある大会となるよう努力してまいります。

更埴支部

更埴支部代表 千曲市立埴生小学校 袖山 茂

更埴支部では、小学校12校と中学校5校、県立附属中1校、県立養護学校1校、公共図書館3館（更埴・戸倉・坂城）で構成されています。「埴科郡と千曲市の公共図書館・学校図書館・その他の読書施設やこれに関連あるものの連絡、連携のもとに図書館事業の伸展を図り、郷土文化の向上に寄与する」ことを目的に活動をすすめてきました。

1 平成27年度の事業の概要

(1) 更埴図書館協会総会

- ・日時 6月25日（木） 15：30～
- ・内容 今年度役員及び組織の承認、前年度事業報告及び決算の報告・承認、本年度の事業計画・予算の承認、次年度以降の役員順番の確認
各部会の事業計画立案（公共図書館部会・小中図書館主任部会・小中学校司書部会）

(2) 長野県読書感想文コンクール募集と支部審査

- ・更埴支部審査会：9月15日（火） 埴生小学校
- ・応募総数：114点（小学校74点・中学校40点）
- ・県送付代表作品：43点（小学校36点・中学校7点）
- ・読書感想文コンクール審査結果報告、賞状の発送 12月

(3) 第65回長野県図書館大会への参加

- ・期日会場：11月14日（土） 小諸市文化センター・小諸東中学校・市民交流センター
- ・参加者数 21名
- ・レポート発表 北澤沙弥香教諭（治田小）

(4) 北信地区学校図書館教育研究大会への参加

- ・期日会場：11月11日（水） 中野市立平野小学校 中野市立中野平中学校
- ・参加者数 5名

(5) 読書感想画コンクール

- ・各学校で集めて県立図書館に送付

2 活動の様子

- 各学校の呼びかけによってここ数年間、読書感想文コンクールへの応募点数が増加している。
- 読書感想文の支部審査は、応募数が多くなってきたので大変であったが、担当のチームワークも良く、全員で協力してできている。
- 県図書館大会への参加は、更埴図書館の配慮で市のバスを手配いただいている。土曜日の大会ではあるが、多くの方が参加しやすい環境をつくっていただいている。

図書館職員等ステップアップ研修 参加報告

ステップアップ研修に参加して

坂城町立坂城中学校 池田 栄子

坂城町図書館教育委員会夏の研修として「学校図書館の情報センター機能をめざす（1）」を選び、受講しました。

宮下明彦先生から改正学校図書館法の学校司書の役割・職務・求められる資質能力について、西入幸代先生から図書館と Web を使った情報活用術を例題で説明しながら、木内公一郎先生からデータベースを使い「どのような力をつけさせたいのか」「どうしたら解決できるのか」を教えてくださいました。また、ブックリストだけではなく、デジタル資料も視野に入れたパスファインダーの話もあり、日々深化している図書館を感じる内容の充実した研修会でした。

研修を受講し、子どもたちや教職員に学校図書館として「どうかかわっているか」「どうかかわっていくか」を考える機会になりました。

新しいことをどんどん学び、活かせる学校司書でありたいと思います。

「学校図書館 情報センター機能をめざす」 ステップアップ研修に参加して

安曇野市立豊科南小学校 高山 佐恵子

学校図書館法が一部改正され、4月から施行された。「読書センター」はとにかく、「学習センター」「情報センター」はまだまだだ。そこで研修会に参加した。「学校図書館の一部改正について」牛山先生から講義を受けた。「授業で情報活用能力を育てる」原小学校の林教頭先生の講義では、実際に年鑑を使って模擬授業をしていただいた。調べる前に予想を立てさせる事で興味を持たせることができる事を学んだ。塩尻図書館の大深先生、大澤先生からは「授業に使える Web 情報の知識とスキル」を教えてくださいました。実際に授業に生かせるものばかりでとても勉強になった。法的に「学校図書館司書」が位置づけられたとはいえ、相変わらず厳しい現実がある。でも個々がスキルアップを図り、「学校図書館は大切」と思われるような司書にならないといけないと感じた。

読書感想文コンクール及び読書感想画コンクールの審査結果から

長野市立松代小学校 松下 寿

平成27年度、第38回長野県読書感想文コンクールについて報告します。各学校から応募された作品について各支部審査・県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数:361校	◇応募作品数:4513編
◇県入選(県応募)作品数:593編	◇県入賞作品数:262編
◇中央審査会応募作品数:8編	※小・中合計数で表示

応募校数はほぼ横ばい状態。例年と変わらぬ各支部の呼びかけ、各校の取り組みに感謝します。また課題図書を精読し、多くの感想文を審査いただいた支部・県審査委員の先生方に感謝申し上げます。

審査員の先生方から、誤字、脱字、原稿用紙の使い方など 基本的指導事項も含めて審査基準をふまえた書き方の徹底や字数に満たない作品の県審査への応募など課題が指摘されています。

一方、「単に粗筋を追いながら単発的な感想を書いていくのではなく自分自身の体験やそのときの思いを重ねながら書いている作品が多かった。その本と出会い、読んだことでこれからこうしたいという自分の願いにつながっている作品もみられた」、「本と真剣に向き合い、自分の考えを精一杯伝えようとしているのが、文章から感じ取ることができた。どれもすばらしい作品でこの先どんな展開が待っているのだろうとワクワクしながら読み進めることができた。子どもたちの可能性ははかりしれないものがある。これからは様々な本と出会い人生経験を積み重ねてほしい。審査に携われたことに感謝したい」などと読書によって感動した子どもたちの作品に審査員が感動することが多くありました。読書の価値を改めて考えさせられるよい機会にもなりました。今後も関係の皆様読書の啓発、作品応募への働きかけを継続的に行っていただけることをお願いいたします。

また、平成27年度の読書感想画コンクールについては、各学校から応募された作品について県審査を行い、次のような結果になりました。

◇応募校数:28校	◇応募作品数:388点
◇中央コンクール応募作品数:8点	※小・中合計数で表示

昨年を上回る作品が応募され応募校も増加しました。小学校では学級単位、中学校では部活動制作としての応募がありました。作品の多くが読み取ったことを自分なりに想像し個性にあふれ、しかも楽しんで描いていることを感じさせるものでした。小学校低学年、中学校に比べ小学校高学年が少なめです。読書感想文同様、作品応募の働きかけをさらに行っていただくようお願いいたします。

応募していただいた児童生徒の皆さん、応募に際してご尽力いただいた皆様に感謝し、来年度も子どもたちにとって両コンクールが豊かな読書生活の一助になることを願っております。

長野県図書館協会 小中学校図書館部会だより 第143号
発行日 平成28年2月10日
発行者 長野市若里1-1-4 県立長野図書館内
長野県図書館協会 小中学校図書館部会(代表 鈴木明)